



当社の売り上げに占める車載比率は約85%。最近ではEV(電気自動車)市場が低迷しているが、ゆくゆくはEV化がさらに進む見通しのため、EV向けの開発は緩めていない。米国のトランプ政権誕生により、世界は変わっていくだろう。中国やメキシコなどだけでなく、日本に対する関税もどのようになるか分からない。どの国も米国向け輸出では苦

勞することになると思われる。産機市場は2025年も厳しさが続くと思われる。産機市場の本格的な回復は、中国の景気が戻ってこないことと難しい。米国の景気は、25年は24年よりも

車載を中心に事業戦略を推進

イリソ電子工業 鈴木仁社長

良くなると思う。今後車載を中心とした事業戦略を進める。EV向けの積極的

な取り組み、EVパワートレイン系やセーフティー系などの開発を推進する。インダストリアル市場向けは製品

も増やしていきたい。秋田工場開設でBへの対応が完成する。

24年秋に新工場の秋田工場(秋田県横手市)Pが稼働し、ようやく落ち着いてきた。今後

24年4月から新EVRの切り替えなどを行っている。樹脂のバイオ



鈴木 社長

の品ぞろえを強化し、グローバルな商社などとの連携強化に努める。最近では車載用に開

クターがインダストリー分野で採用されることもあるため、今後

排出量削減のため、国内ではグリーン電力への切り替えや工場への太陽光発電設置などを進めている。まずは消費電力を削減するた



鈴木 社長

の最適化を図る。環境対応ではCO₂排出量削減のため、国内ではグリーン電力への切り替えや工場への太陽光発電設置などを進めている。まずは消費電力を削減するた



鈴木 社長

の最適化を図る。環境対応ではCO₂排出量削減のため、国内ではグリーン電力への切り替えや工場への太陽光発電設置などを進めている。まずは消費電力を削減するた